土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和3年度　砂防指定地内河川 中津岡川　砂防設備緊急改築事業に伴う業務位委託

事業名 または 工事名 令和3年度　砂防指定地内河川 中津岡川　砂防設備緊急改築事業に伴う業務位委託

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.4	**調査位置**	広島県廿日市市大野			**北緯**	34° 18′ 12.62″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			**調査期間**	2021年 7月 28日 ～ 2021年 7月 30日	**東経**	132° 16′ 14.86″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 28.54m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
使用機種	**試錐機**	コンセック SPX-16A					
総削孔長	11.00m	**エンジン**	有光 CSE-316CK2	**ポンプ**	ホンダ EU16i		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3 4 5 6 7	20.99	7.55		コンクリート		暗白灰			顕生代	堤体コンクリート。 20mm～40mm程度の骨材を含む。 最大L=10cm大の粗石を含む。 GL-4.00m付近より礫状を呈するコアが含まれるようになる。 コアの亀裂面に赤褐色の変色が認められるようになる。 GL-4.55m付近よりシルト質砂状のコアが含まれるようになる。 GL-5.25m付近より硬質なコンクリートが主体となる。 GL-5.40m～-5.60m及び-5.80m付近の亀裂部に土砂の流入が認められる。	07/30 5.40
8	20.04	8.50		礫混じり砂		茶			第四紀	河川成堆積土砂。 φ30mm程度の礫を含む。 全般的に締まった層である。	
9	19.64	8.90		玉石		茶褐				花崗岩の玉石。	
10 11	17.54	11.00		花崗岩		淡橙灰			古第三紀	粗粒黒雲母花崗岩。 風化が進行しマサ状を呈する。 長石類の風化進行著し、コアは指圧にて粉末状を呈する。 岩級区分ではDII級に相当する。	

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8.15 / 8.42	56	7	12	31 / 70	50 / 270	270	
9.15 / 9.34	79	24	26 / 90		50 / 190	190	
10.00 / 10.05	300	50 / 50			50 / 50	50	
11.00 / 11.02	750	50 / 20			50 / 20	20	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.35 / 1.45	C-1	⑭	圧縮試験		7/28
8.15 / 8.42	P-1	⊖			7/29
9.15 / 9.34	P-2	⊖			
10.00 / 10.05	P-3	⊖			
11.00 / 11.02	P-4	⊖			7/30